

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名	熊本こすもす園（障害者支援施設）		
開催日時	令和7年12月11日（火）13：30～15：00		
開催場所	熊本こすもす園 介護棟		
出席者	構成員	人数	備考
	事業所職員	3	管理者、課長、支援員
	入居者	1	
	地域の関係者	2	町内区長・民生委員児童委員
	福祉に知見を有する方	1	司法書士
	経営に知見を有する方		福祉施設 施設長
	市町村担当職員	1	市障がい福祉課 課長補佐
※利用者家族	1	※当日欠席の為コメントを紹介	
議題	<p>（1）開会</p> <p>①施設長挨拶</p> <p>②出席者紹介</p> <p>③配布資料等の確認</p> <p>（2）会議資料説明</p> <p>（3）事業説明</p> <p>①地域連携推進会議の目的</p> <p>②熊本こすもす園の紹介</p> <p>③熊本こすもす園のBCP計画（業務継続計画）について</p> <p>④熊本こすもす園（施設入所・生活介護・短期入所）について</p> <p>⑤権利擁護について</p> <p>⑥利用者代表発表</p> <p>⑦家族の代表コメント</p> <p>（4）意見交換・質疑応答</p> <p>（5）閉式</p> <p>（1）～（3）①～⑤ 略</p>		

■施設見学について

開催日時 令和7年11月23日（日）14:30～15:30

出席者 会議出席者（欠席：司法書士、利用者家族）

- 内容
- (1) 見学前説明
 - ・施設長挨拶
 - ・施設等について説明
 - (2) 見学
 - (3) 見学後の感想・質問（別紙）

協議内容・
意見等

(3) ⑥利用者代表発表

今回利用者を代表している K さんに、日頃の活動の様子などを質問していきたいと思います。
よろしくをお願いします。

Q:好きなことを教えてください。

A:時間があれば草取りが大好きなので、草取りをしています。フルーツキャップの作業も大好きです。

K さんは普段の日中活動では、フルーツキャップ作業をメインに取り組まれています。1 番最後の検品やゴム止めなど器用さを求められる作業を担当して頂いています。また、フルーツキャップ作業が納品の関係でない時は、土日を含めて除草作業に取り組んでいます。主にこすもす園内の草取りをしています。また、創作活動で毎月カレンダー作りや絵を描いたりすることも好きな方です。写真のクリスマスの絵も K さんが作成されました。

Q:好きな食べ物を教えてください。

A:特にらーめんが好きです。

毎日の食事で必ずラーメンが出るわけではないので、休日にたまにカップラーメンを食べられています。コーヒなども飲まれています。

Q:こすもす園の生活は楽しいですか。

A:まずまず楽しいです。

今現在、K さんのご要望に 100% 応えられていない部分もあつたりするので、色々リスクはあるかもしれませんが、K さんが楽しいと思っただけのような支援を行う必要があると思っております。

Q:最後に今後やってみたいことを教えてください。

A:フルーツキャップや草取りの作業をこすもす園で続けたいという思いが 1 番強いかなと思っています。

今回表示している資料には載せておりませんが、K さんのエピソードを 1 つ紹介させていただきます。ある日施設を退所する利用者さんに対して「お世話になりました」「ありがとうございました」としっかり話すことができますし、コミュニケーションが取れる優しい方です。

(3) ⑦家族の代表コメント

今回都合により欠席された、ご家族代表の H さんからメッセージを預かっておりますので代読します。

熊本こすもす園入所されている利用者さんのご家族が亡くなられたりする話を聞くと少し寂しいなというお話が出ています。時代の変化もありますが、家族同士の集まりがなくなっていることも淋しさを感じます。あと、私自身今まで元気だったんですけど、少しずつ病気などもでてきて年齢を感じています。私の娘も入所していますが、お世話をしてくれているので安心していきますというお話でした。

【意見交換・質疑応答】

Q: 避難の模擬訓練は実施していますか。(地域の関係者より)

A: 消防訓練を年2回(施設入所の夜間を想定したものと入所・通所合同で行うもの)実施。連絡手段としてLINEWORKSを活用しています。

Q: ガソリン用の自家用発電機に実用性がありますか。災害発生時はガソリンの購入が難しいと思われるのですが。(地域の関係者より)

A: ■ガソリンの買い溜めは法的に不可能です。最悪の時は公用車から抜くことも想定しています。バッテリーの発電機導入は今後必要かもしれません。

■ガソリンの保持は40L未満であれば届け出不要です。宇城市の消防のサイトに紹介されています。

■お金はかかるかもしれませんが、九州電力から模擬の発電機を借りることはできるようです。

■近くに松橋東防災センターがありますので、そこへの避難も想定しています。

■避難所運営の現状として、熊本地震の際知的障害者が環境に慣れず、施設やグループホームに戻る事例がありました。ALSの方は特別に避難所を設置したりしました。防災センターで障害者の方が環境に適応できるかの課題があると思います。

Q: 日帰り旅行の経費はどのようになっていますか。(地域の関係者より)

A: 入所利用者の方は旅行積立金から実費負担、通所利用者の方は実費負担していただいております。

Q: 短期入所・日中一時支援事業の現状を教えてください。(地域の関係者より)

A: 利用者の方は同じ利用者の方が固定で利用するケースが多いです。利用されていた方がグループホーム利用になられると利用実績は減少する傾向にあります。

Q: 施設入所の相談は毎月何件程度ありますか。(地域の関係者より)

A: ■毎月1~2件程度。見学と体験をお願いしています。施設入所の待機待ちの方がいらっしゃるが、優先度の高い方から入所していただいております。

■くすのき園は新規相談で精神障害の方が多いです。

■現在、国の施策としては施設から地域へととなり施設の在り方が問われています。しかし、現実には逆になっています。地域生活を送る場合、自由な反面安全確保が難しいことから、施設入所に関するニーズが多い現状もあります。

Q: 夜間の火災発生時は男女1名ずつの職員で誘導可能でしょうか。先日施設見学した際、通路が入り組んでいるので少し心配な部分があります。(地域の関係者より)

A: ご指摘の通り通路などが複雑な部分はあります。毎年避難訓練を実施する中で訓練しております。

Q: 障害者支援施設の看取りをどのように考えていますか。(市担当者より)

A: こすもす園ではこれまで看取りまで行った事例はなく、現段階で基準も設けていません。ご家族のご意向を尊重しています。もし、看取りをするなら支援方法の検討・確率をしないとイケません。令和6年度に高齢の方が家族が遠方に住んでいた関係で退所されたケースがありました。

Q: 短期入所の空き状況と体制面についてお尋ねしたいです。こすもす園は地域生活拠点の加算をとっているのですが、行政としては緊急時の避難先の確保は最重要課題なので柔軟な対応をして頂きたいと考えています。(市担当者より)

A: 短期入所は男女1名ずつの受け入れが可能です。緊急の新規事例は、可能な限り受け入れてい

ます。元々入所している方もいらっしゃるのどこまで支援できるかを考慮して受け入れ可否を判断しています。



11月23日（日）

地域連携推進会議（施設見学会）

14時30分～15時30分

Q:施設を歩いてみて、いろんな場所があると感じた。また、やや古い印象を受けた。（地域の関係者）

A:昭和62年に建った施設。当初は知的障がい者の授産施設として建設された。その後、運営形態を変えながら施設内の改修や新たな生活介護棟と就労作業所等を増設している。

Q:当初の入所者は？（地域の関係者）

A:当初は、50名だった。1部屋4人部屋

Q:ここにいる人が、どこかに就労に行く人がいるのか？（地域の関係者）

A:入所者は、この場所で行う生活介護を利用しているので、他に就労をに行いに行くことはない。なお、グループホームを利用する方であれば、そこから就労の場に通うことになる。園の生活介護には登録者が10名おり、その方達は当園に通っている。

Q:「デイサービス」と似ていると感じた。デイサービスと言われると私たちも分かるが「生活介護」と言われると分からない。生活介護とは、何をやっているのか（地域の関係者）

A:体操や機能訓練、切り絵作業やフルーツキャップ作業などいろいろな内容を行っている。就労事業所のような収入作業とは違うが、フルーツキャップ作業では少額ではあるが作業料を得られ